

うっしっしいー情報2016

11月市



豊岡農業改良普及センター

11月9日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が96万4千円、雌が91万5千円でした。

普及センター調べ（税込価格）

（本人落としも含むため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
宍粟・佐用	11	0.994	938,324	9	0.834	835,800	20	892,188
篠山	5	1.004	962,496	3	0.851	845,640	8	918,675
丹波	20	0.980	946,242	9	0.848	851,760	29	916,920
朝来	5	1.047	984,528	4	0.881	908,010	9	950,520
播磨	17	0.983	935,216	7	0.868	859,989	24	913,275
美方郡	72	1.004	975,360	48	0.883	978,593	120	976,653
豊岡	25	0.973	964,267	10	0.894	885,924	35	941,883
養父	17	0.981	985,595	16	0.856	878,310	33	933,578
摂津・神戸	3	0.875	928,440	2	0.765	786,780	5	871,776
市場全体	175	0.991	964,304	108	0.869	915,140	283	945,542

11月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	芳山土井	32	1.003	955,901	27	0.885	993,680	59	973,190
2	芳悠土井	47	1.025	981,582	17	0.888	910,122	64	962,601
3	照忠土井	33	0.962	969,382	18	0.852	919,740	51	951,861
	総計	175	0.991	964,304	108	0.869	915,140	283	945,542
4	丸宮土井	33	0.967	973,375	20	0.865	877,446	53	937,175
5	千代藤土井	14	1.014	951,634	12	0.860	847,620	26	903,628

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	芳山土井	A+	A++	A++	C	A+	A++
2	芳悠土井	A+	A+ → A	A+ → A	B	A	A+++
3	照忠土井	B	A+++	A+	A+	A+++	A+
4	丸宮土井	B	B	A+	A++	A++	A++
5	千代藤土井	A	A+++	D	A+	A++	A++

北部農業技術センター提供 (育種価評価は平成28年7月現在)

稲WCS(稲ホールクロップサイレージ)の利用について…

○稲WCSとは…

稲WCSとは、稲の子実が完熟する前に穂部(籾)と茎葉部を同時に収穫し、サイレージ化した粗飼料です。

○稲WCSの発酵品質と飼料成分

下の表は平成27年に朝来市で生産された稲WCSの成分分析結果です。(粗蛋白質～TDNまでは乾物中の数値)

いずれの品種についても、pH4以下であり、しっかり乳酸発酵がすすんでいると思われる。Vスコア※1も非常に高い数字であり、良好な品質であることが分かります。

また飼料成分は、イタリアン(乾草)、イタリアンサイレージとほぼ同程度の成分があり、稲ワラと比較すると高い結果となりました。実際の農場での給与でも高い嗜好性が確認されており、飼料として十分に利用できるものと考えられます。

しかし、注意が必要なのは、**水分率に大きな差**があることです。従って、水分率を意識した給与を心がけて下さい。



品種名		水分	乾物	粗蛋白質	粗脂肪	NDF	TDN	pH	Vスコア ※1
夢あおば	早生	70.8	29.2	7.9	2.9	56.7	56.5	4.0	100.0
モミロマン	中晩生	66.6	33.5	5.7	2.1	48.3	58.6	3.9	99.0
リーフスター	極晩生	68.7	31.4	6.2	2.5	55.4	51.0	3.9	100.0
たちすずか	極晩生	66.2	33.8	5.2	2.1	52.0	61.7	3.9	99.0
稲ワラ	参考 ※2	12.2	87.8	5.4	2.1	63.1	42.9	/	/
イタリアン(乾草)		9.4	90.6	6.2	1.5	65.4	64.4		
イタリアン(サイレージ)		76.4	23.6	9.7	3.8	66.1	57.6		

分析機関: 十勝農業協同組合連合会 農産化学研究所

※1 発酵品質の評価指標: 80点以上「良」、60～80点「可」、60点以下「不良」

※2 日本標準飼料成分表(2009年版)より

○稲WCS給与の注意点

給与はラッピングの1ヶ月以降からになりますが、繊維の消化率をよくするためには **2ヶ月程度経過**してから給与を始めるのが理想的です。開封後の品質の劣化を防ぐためには、使い切りが基本です。もし劣化が不安な方は、カビ吸着剤の利用を検討して下さい(2015年12月号参照)。

稲WCSの成分や品質は、生産した年や場所、保管状況などによりバラツキが見られますので、成分分析をお勧めします。また、給与中の製品の状況や給与している牛の状態に注意しながら、給与を行ってください。特に水分の高い製品は、重量だけで見ていると、乾物量が思っているよりも少なくなっていますので注意してください。なお、水分率は普及センターでも調べることができます。

子牛に給与する場合、全量稲WCSの給与試験では、6ヶ月齢以降に食い止まりが見られるとの報告があります。

また、栄養価や発酵品質のバラツキを考慮して、**他の乾草との併用が基本**で、乾草の現物重量の3分の1を稲WCSに置き換えます。このとき、置き換える稲WCSの量は、減らした乾草重量の3倍を給与します(表)。



嗜好性は良好

表 乾草と稲WCSを併用した場合の給与例 (kg)

	乾草のみ	乾草	稲WCS
母牛	6	4	6
子牛	3	2	3

稲WCSは適切に保管し、水分や栄養価、品質に注意しながら給与しましょう。